

# 玉川大学 IB教育フォーラム 2022

## 幼児期における学び (子どもの遊びを支える指導と学習)

2022年12月11日 日 9:00～13:50

Online

国際バカロレア (IB) では、幼児期の学習者は知的で機知に富み創造的であり、またそれぞれ異なるペースで成長・発達・学習すると理解しています。彼らは遊びや、仲間、教師、家族、地域の人々との関係を通して、自分の環境を探索し、自分の世界について学びます。そのため、子どもを認知的、社会的、感情的および身体的に支えるためには、学習コミュニティの全員が（探究の主要な推進力が遊びである独自の時期として）幼児期を重視することが求められます。

幼児期における (3-5 歳) Early Years (EY) IB Primary Years Programme (PYP) では、「遊び」を中心とした学習アプローチを通じた言語スキル、運動スキル、社会的スキル、そして学問的スキルの発達を重視しています。保育士・幼稚園教諭は常に子供の学習の様子を見ながら幼児のニーズに対応した有意義で魅力的な「遊び」を中心とした学習環境を検討し、提供することが期待されています。

そこで今年度は、日々子どもたちと向きあいながら共に学んでいる先生方に少しでも PYP の実践に貢献できるような内容をご提供したいと考え、本フォーラムのテーマを「幼児期における学び：子どもの遊びを支える保育」としました。EY PYP についてすでによくご存知の方から、これから EY PYP を学ぶ方まで、IB 教育の真髄を理解する素晴らしい機会となるようプログラムを構成しました。基調講演では IB 機構の James Lawrie 氏、Sue Tee 氏、Anne van Dam 氏、Monita Sen 氏に EY PYP における教育の進め方についてお話しいただき、また玉川大学の大豆生田先生に保育における子どもの主体的な「遊び」の重要性についてお話しいただきます。その後、教員限定のワークショップや、PYP 認定幼稚園の実践例など、さまざまな体験的な学びの時間を用意していますので、ぜひご参加ください。



事前申込制 (参加費無料)

対象者 保育士、幼稚園教諭、保護者、教育関係者

申込締切 2022年12月5日(月)

フォーラムの参加申し込み

<https://forms.gle/uTVwrTPESkjpYpn46>

# フォーラムの日程

09:00～09:10

## 開会の挨拶

宮崎 豊 (玉川大学 教育学部乳幼児発達学科主任)

09:10～09:40

## Keynote Speakers I: James Lawrie, Sue Tee, Anne van Dam

### The early years in the PYP

PYP early years teachers create stimulating learning spaces, listen deeply to students and craft exciting avenues for inquiry. They ensure a balance between listening to individuals, shaping shared investigations and ensuring overall intentions for learning. Using a repertoire of strategies, tools and understandings, teachers work closely with students to co-construct inquiries and reflect regularly on their practice. This session will explore the central features of the early years PYP and how the processes of learning and teaching are crafted to support students' individual and emergent pathways of development.

## 基調講演 I: ジェームズ ローリー、スー ティー、アン バン・ダム

### 幼児期におけるPYP

PYP の幼児期の教師は、刺激的な学習空間をつくり、幼児の言うことに耳を傾け、興味を喚起するような探究のための手段をつくります。また、一人ひとりの話を聞くこと、共同で行う調べごとをつくること、そして学習の全体的な目的を確保することのバランスを心がけています。教師は、ストラテジー、ツール、理解のレパートリーを用いて、幼児と密接に協働し、探究とともに構築して、定期的実践を振り返ります。このセッションでは、幼児期における PYP の中心的特徴を探り、幼児一人ひとりの発達を支える学習と指導のプロセスについて説明します。

※本基調講演は英語で行われますが、事前に概要翻訳(日本語)を公開する予定です。

09:50～10:20

## Keynote Speaker II: Monita Sen

### Understanding Agency - Going beyond voice, choice and ownership

As educators we are fascinated by the concept of agency but often struggle to understand what it actually means for our teaching and for our learners. This session will look at some of the theories behind the concept of agency and encourage participants to dig deeper into how agency can look in their unique context. It will draw on an ecological approach to agency and examine what agency means in the context of the IB mission statement.

## 基調講演 II: モニータ セン

### エージェンシーを理解する - 声、選択、主体性を超えて

私たちは教育者としてエージェンシーの概念に魅了されますが、教育現場や学習者にとってエージェンシーとは実際のところ何を表すのか、理解しにくいと感じることが多いのではないのでしょうか。このセッションでは、エージェンシーの理論に触れ、参加者の皆様がそれぞれの文脈でエージェンシーについて考えを深めていく場にしたいと考えています。エコロジカルアプローチでエージェンシーを捉え、IB 使命とのかかわりの中でエージェンシーとは何かを検証します。

※本基調講演は英語で行われますが、事前に概要翻訳(日本語)を公開する予定です。

10:30～11:00

## 基調講演 III:大豆生田 啓友

### 子どもの主体的な「遊び」が学び

乳幼児期は、子どもの主体的な遊びが学びです。ここでいう「遊び」とは、子どもが興味関心を持ち、人やモノなどの環境にみずからかわり、ワクワク・ドキドキして何かに没入する行為です。近年では、それが社会情動的スキル（非認知能力）などの視点からもその意義が説明されます。時にその姿は、アーティストのようでもあり、エンジニアや科学者、文学者のようでもあります。そして、その創造性や想像性を持つ遊びは、協働的である時に、agencyとして自分たちの社会の作り手にもなっていくのです。このような「遊び」が学びであることについてお話ししたいと思います。

11:10～11:40

## 実践報告

### 町田こばと幼稚園

### 発表者:神蔵 かおる

町田こばと幼稚園では、IBの初等教育プログラム（PYP）を実施し開発するために常に園全体で振り返りのプロセスに取り組んでいます。その結果、PYPにおいて効果的に実施されている側面と、さらなる発展の必要がある側面の両方をより深く理解できるようになりました。町田こばと幼稚園が今「プログラム開発の焦点」として設定しているのは、英語・リズム・体操など専科教員とクラス担任とのコラボレーションをより濃くすることです。互いにユニット内容・活動の時間に育みたい要素について理解し、協働で計画し、クラス担任だけでなく、園全体（専科教員も含む）で子どもたちの学びを見守り、振り返りや記録を行うための有効なシステムを探るために日々試行錯誤を重ねながら学習しています。IBが求める「学習する組織」になっていくための険しくも楽しい道のりを町田こばと幼稚園がどのように辿っているのか、ケーススタディを紹介します。

11:50～12:40

## EY PYP教員限定:ワークショップ

### 講師:西多 美保

本セッションでは、幼児期におけるPYPの中心的特徴の1つである「象徴機能を用いた探究と表現」における「言語」の学習と指導についてお話しします。遊びや探究ユニットを通して、言語の理解と読み書きの機会を提供する方法について紹介します。

12:50～13:50

## EY PYP教員限定:ネットワークセッション:

このセッションは、IB EY PYP校で現在努めている教員がそれぞれの園での実践（指導と学習の戦略）を互いに共有し合う時間です。

# Presenter Profiles

## Monita Sen

Monita Sen has over 22 years' experience in education in a variety of roles including both teaching and leadership positions. Monita began her career as a Montessori teacher but then moved to an IB school and fell in love with the PYP. She has experienced the PYP as a teacher, a coordinator, a head of school and as a member of the IB educator network; this experience led her to join the IB in 2012 as the PYP Regional Manager for Asia Pacific. Since her time at the IB, Monita has focused on supporting PYP schools, including working with a team to develop the scope for an early years offering. In her current role as PYP Authorization Manager, she supports PYP schools in the candidacy phase. As a life-long learner, Monita is also pursuing an educational doctorate with the University of Bath and her research areas include teacher agency, collaboration, and transdisciplinary learning.



## モニータ・セン

モニータ・センは、22年以上教壇に立ち、指導的立場も含めさまざまな経験を積んできた。モンテッソーリの教員としてキャリアをスタートさせた後、IB スクールに移り PYP に魅了された。教師、コーディネーター、学校長、IB 教育者ネットワークのメンバーとして PYP に携わり、その経験をもとに 2012年に国際バカロレア機構に入構。アジア太平洋地域の PYP 地域マネージャーを務めている。PYP 校の学校支援に尽力し、幼児教育プログラムの開発に携わってきた。現在は PYP Authorization Manager として、PYP 認定校のサポートを行っている。また、バース大学の教育学博士課程に在籍している。(専門分野：教師のエージェンシー、協同、教科の枠を超えた学習)

## James Lawrie

James Lawrie is Head of Programme development for both PYP and MYP. This role includes the strategic direction and advocacy for the programmes. James has educational leadership experience at schools, universities, governments and non-profit organizations. He has held curriculum and research leadership roles at global non-profits including Head of Education at Save the Children and Director of Research, Innovation and Curriculum at Aflatoun International. This work focused on advancing government systems for teacher professional development, partnering with NGOs such as UNICEF, managing the development of primary/secondary learning and teaching curricula, applying smart application technology for learning, and improving accelerated primary education.



## ジェームズ ローリー

PYP・MYP のプログラム開発責任者であり、プログラムの戦略的方向付けとアドボカシーの担当をしている。学校、大学、政府、非営利団体で教育指導の経験を積んでおり、セーブ・ザ・チルドレンの教育責任者、アフラトゥーン・インターナショナルのリサーチ・イノベーション・カリキュラム担当ディレクターなど、グローバルな非営利団体でカリキュラムやリサーチの分野でリーダー的役割を担ってきた。教師の専門能力開発のための政府システムの推進、ユニセフなどの NGO との提携、初等／中等教育での学習・教育カリキュラムの開発管理、スマートアプリケーション技術の学習への応用、初等教育の加速化などに重点的に取り組んでいる。

---

## Sue Tee

Sue Tee is a PYP curriculum manager with responsibility for Arts and Early Years. Her experience has seen her work across the primary age range as both teacher and assistant principal, but her heart is in early years education and learning through play and it is here that she has spent most of her time learning from and with amazing educators and children. Sue has worked in the UK, Hong Kong and The Netherlands and since joining the PYP team in 2020 she has been involved in the development of materials to support early years educators and schools.



## スー ティー

PYP カリキュラムマネージャーとして、芸術と幼児教育を担当。教師、また副校長として、初等教育全般に携わってきたが、幼児教育と遊びを通じた学びに魅了され、その分野で、素晴らしい教育者や子どもたちと共に多くの時間を過ごしてきた。イギリス、香港、オランダで勤め、2020年にPYPチームに加わってからは、幼児教育者と学校をサポートするための教材開発に携わっている。

---

## Anne van Dam

Anne van Dam has worked as a teacher, coordinator, head of school and vice-principal at international schools in China, Singapore and Switzerland. Anne moved back to the Netherlands in 2015 where she collaborated for two years with the PYP development team at the IB regional office in The Hague. She worked on the IB PYP review focusing on learner agency, early years, inquiry and several aspects of 'the learning community'. Anne still works for the IB as a workshop leader and collaborates with international schools as an independent educational consultant. Since May 2019, Anne also learns alongside 4,5 and 6 year olds at an inner city, local PYP school in her home town The Hague.



## アン バン・ダム

中国、シンガポール、スイスのインターナショナルスクールで、教師、コーディネーター、学校長、副校長を経験。2015年にオランダに戻り、ハーグのIB地域オフィスでPYP開発チームと2年間協働。学習者の主体性、幼児期、探究心、「学習コミュニティ」の側面に焦点を当ててIB PYPのレビューに取り組んできた。現在もIBでワークショップリーダーを務めながら、独立教育コンサルタントとしてインターナショナルスクールと協働している。また、2019年5月より、故郷ハーグの都市部にあるPYPスクールで4,5,6歳の子どもたちと共に学んでいる。

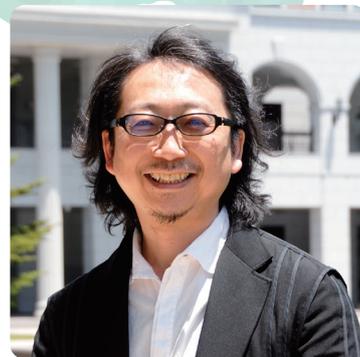
## 大豆生田 啓友 (おおまめうだ ひろとも)

所属 玉川大学教育学部・教授

経歴 青山学院大学大学院文学研究科教育学専攻修了後  
青山学院幼稚園教諭等を経て、現職

社会的活動

日本保育学会理事、日本こども環境学会理事、日本乳幼児教育学会理事、内閣官房(こども家庭庁準備室)「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針」に関する有識者懇談会委員(座長代理)、文部科学省「幼保小の接続期の教育の質的向上に関する検討チーム」委員、よこはま☆保育・教育宣言運用協議会委員、yahoo japan 公式コメンテーター、NHK・Eテレ「すくすく子育て」出演、テレビ静岡「テレビ寺子屋」出演等



著書(\*は保育者以外に保護者・一般向け)

- 『園のリーダーのための リスペクト型マネジメント』全2巻「①組織改革の4つの視点」および「②語り合う保育の12か月」(フレール館、2022)
- 『子どもが対話する保育 「サークルタイム」のすすめ』(小学館、2022)
- 『子どもと自然(遊びが学びとなる保育実践シリーズ)』(学研、2022)
- \*『非認知能力を育てる 「しつけない」しつけのレシピ』(講談社 2021)
- 『マンガでわかる 子どもって「いいめ!」のみつけかた』(ひかりのくに 2021)
- 『園行事を「子ども主体」に変える!』(チャイルド本社 2021)
- 『日本版 保育ドキュメンテーションのすすめ』(小学館 2020)

その他多数

## 西多 美保 (にした みほ)

所属 東京インターナショナルスクール・初等教育プログラム(PYP)日本語教師

経歴 モナシュ大学大学院(オーストラリア)日本語応用言語学修士課程修了後  
ウヰズリーカ レッジ(オーストラリア)初等教育プログラム(PYP)日本語教師を経て、現職

社会的活動

PYP ワークショップリーダー、PYP 候補校コンサルタント、PYP 確認訪問チームリーダー、プログラムリーダー、PYP カリキュラムディベロッパー、IB リードエデュケーター。



## 神蔵 かおる (かんぞう かおる)

所属 町田こぼと幼稚園・初等教育プログラム(PYP)副園長

経歴 東京女子大学卒業後、2000年より町田こぼと幼稚園勤務。  
2009年副園長に就任。

